

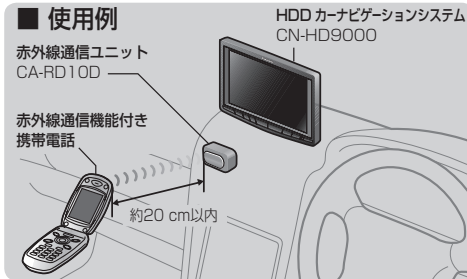
赤外線通信

■ 赤外線通信とは

- 携帯電話とナビゲーションの間で、赤外線通信によるデータ(位置情報など)の送受信ができます。さらにルート設定情報や携帯電話で探索した施設情報を送信することもできます。
- 赤外線通信を行うには…
 - ・赤外線通信ユニットCA-RD10Dが必要です。(取り付けかたは、CA-RD10Dの取付説明書をご覧ください)
 - ・赤外線通信機能付き携帯電話が必要です。(対応携帯電話機種については、下記をご覧ください)

■ 赤外線通信をするときは

- 携帯電話の受信状態が良い、安全な場所に停車させてから操作してください。
- 携帯電話の赤外線ポートを赤外線通信ユニットに向けて、20 cm 以内の距離で行ってください。
- 携帯電話を手に持つ場合は、ぶれないようにしっかりと持ってください。
- 携帯電話の赤外線ポートと赤外線通信ユニットの間をふさがらないでください。
- 赤外線通信ユニットに直射日光があたっているときは、正常に送受信できない場合があります。



■ 通信機能一覧

通信機能	
iアプリでナビゲーションの情報を携帯電話に取り込む	① 地点情報の取得 : ナビゲーションの現在地・目的地・地図の中心の地点情報を取得 ② ルート情報の取得 : ナビゲーションのルート情報(出発地・経由地・目的地)を取得
iアプリで携帯電話の情報をナビゲーションに送信する	③ 施設情報の送信 : iモードで取得した施設情報をナビゲーションに送信 ④ ルート情報の送信 : iモードのルート情報(出発地・経由地・目的地)を、ナビゲーションに送信 ⑤ 周辺検索結果の送信 : iモードで周辺検索し、検索結果をナビゲーションに送信
電話帳を利用する ナビゲーションの電話帳データを携帯電話に取り込む	⑥ 電話帳データの取得 : ナビゲーションの登録ポイントや検索した施設の電話番号を取得
携帯電話の電話帳データをナビゲーションに送信する	⑦ 電話帳データの送信 : 携帯電話の電話帳に登録されている名称・電話番号をナビゲーションに送信

■ iアプリ対応コンテンツについて

(2006年11月現在)

- i Map Fan 地図 インクリメントP(株)
- ゼンリン地図+ナビ (株) ゼンリン

【お知らせ】

- 操作や利用できるサービスは、コンテンツによって異なります。
- コンテンツによっては、赤外線通信機能の一部が利用できない場合があります。
- コンテンツによっては、さらに別のiアプリが必要な場合があります。
- サービスやコンテンツには、有料のものがあります。
- 「iアプリで赤外線通信をするときは」も併せてご覧ください。(45ページ)

■ 対応携帯電話機種について

(2006年11月現在)

NTT ドコモ製

S0504i、P504i、F504i、N504i、D504i、P504is、P505i、P505is、P506iC、P506iC II、P2102V、P900i、P900iV、P901i、P901is、P901iTV、P902i、P902is、P903i、P700i、P701iD、P702i、P702iD

【お知らせ】

- 利用できるサービスは、お使いの携帯電話によって異なります。(携帯電話の取扱説明書も、併せてご覧ください。)



- 赤外線通信機能は、ITナビゲーションシステム研究会のDIM2フォーマットに準拠しています。(DIM2: Data Interface Specification for Mobile Multimedia)
- 「DIM2」およびDIM2ロゴマークは、ITナビゲーションシステム研究会によって商標登録出願済です。

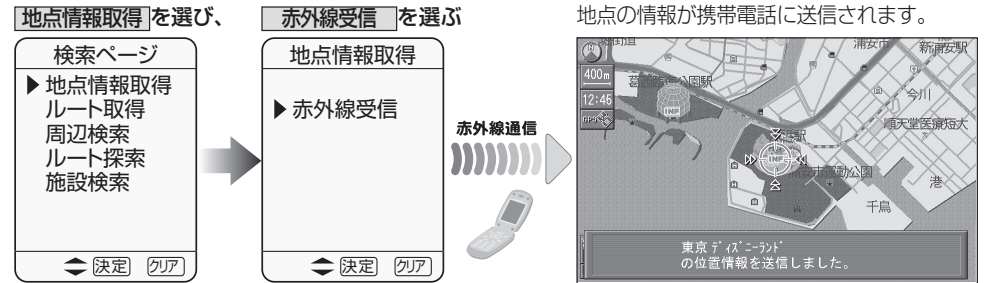
iアプリでナビゲーションの情報を携帯電話に取り込む

iアプリで赤外線通信をするときは

- サイトから、iアプリのコンテンツを携帯電話にダウンロードしてください。
- 操作や利用できるサービスは、iアプリのコンテンツによって異なります。(本書で紹介している画面はイメージです。詳しくは、iアプリのコンテンツのヘルプ画面などをご覧ください。)
- 本書では、将来iアプリのコンテンツで対応予定の内容についても説明しています。サービスによっては現在ご利用になれない場合があります。

① ナビゲーションの地点情報を携帯電話で取得する

現在地・目的地・表示位置の地点情報を取得できます。



② ナビゲーションのルート情報を携帯電話で取得する

ルートが設定されている状態で行ってください。

